平成30年度第2次補正予算

重点分野・テーマ別に集中実施する販売促進の強化等緊急対策事業に係る

海外販売促進活動報告書

令和2年1月31日

JA全農インターナショナル株式会社

重点分野・テーマ別に集中実施する販売促進の強化等緊急対策事業に係る
海外フロンテア市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域　：　台湾

実施期間　：　令和2年 1月10日～1月12日

「台湾　幸福食集　JA全農フェア」

香港販売促進活動

１．『大昌貿易行 ＪＡ全農フェア』について

（1）期間　　：令和2年1月10日（金）～1月12日（日）

（2）場所　　：幸福食集ビル1階　スーパーマーケット

（3）出席者　：幸福食集　徐マネージャー
　　全農インターナショナル株式会社　山口

（4）内容　　：台湾において、規制上一般的に輸出が難しいと言われているみかんに関して、
　　あらかじめ産地指定の上、台湾の防除暦に基づき栽培した。
　　オリジナル化粧箱を作成し、春節前の事前発注をとり、さらに店舗でフェアを実施
　　することで、日本産のみかんの購買を促した。

（5）販売青果物
　静岡県産　丸浜みかん（片山）

（6）出荷日程
　12月19日　　清水港→基隆港　船便
　1月9日～11日　　店舗に到着

（7）着荷状況
　すべての商品はほぼ良好であった。
　※春節向けの輸入品が台湾側に殺到していたこともあり、荷物のリリースが大幅に遅れたが、
　　５%以下程度のダメージであった。

静岡のオリジナルキャラクター「ちびまる子ちゃん」を使用したことで販売は順調であった。

約6500円/2.5kg化粧箱でも売れ行きは好調。

商品の状態も良かった。

４．所感

台湾向けみかんは、まだ防除の課題が残り不安定供給の可能性を排除しきれていないものの、無事通関が切れさえすれば、日本産のみかんの需要は確実に存在することが分かった。
キャラクターによる影響も大きいが、キャラクターの使用には諸費用が掛かるので、費用対効果の検証が必要。しかしながら、キャラクターを付与したほうが間違いなく販売は円滑である。

５．　今後の進め方

台湾においては、台湾の防除暦に基づいて栽培している既存の産地あるいは、マーケットインで、先方の要請がある品目については産地づくりも視野に入れてすすめる。